



松田美恵さんの絵

第384回例会 1966.12.27(火)雪

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや (2) 0707・2838番
 事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

BETTER WORLD
 THROUGH ROTARY
 (ロータリーでより良き世界を)

卓話 日本一のタンカー出光丸
 会員 五十嵐一郎君

出席報告

本日の出席	会員数	58名
	出席数	49名
	出席率	84.48%
前回の出席	前回出席率	86.21%
	修正出席数	51名
	確定出席率	87.93%

欠席者 阿部君、千葉君、金井君、佐藤(伊)君、辻君
 (無届者) 長谷川君、荘司君、谷口君、高橋君

メックアツク 今間君一 鶴岡西RC

ヒンター 佐藤勤君、斎藤一郎君一酒田RC

ソング 奉仕の理想 リーダー 三井(健)君

司会 会長 早坂源四郎君

連絡事項

委員会報告

青少年委員会…… 鶴岡西高等学校インターアクトクラブ設立について、その経過報告。

親睦委員会…… クリスマスパーター盛會に終了、各位の御協力に深謝申し上げます。それからスマイルについて何分の御協力よろしくお願ひします。

年末諸感 早坂会長

今年も余す処数日となり、本日が本年最後の例会でございます。

本年7月会長に就任して以来今日迄仕事に追われ夢中で参りましたが、皆様の御支援、御協力により、先づ第2クラブへの御援助、それから交換学生の世話、又社会奉仕の関係も委員長の方により地味乍らも具体的に実行して参りました。又只今報告のインターアクトクラブの問題も具体化致しました。それからクラブ奉仕では会報も順調に発行、クリスマス家族会(西クラブと合同)も盛大に開かれ、更に又会費の改定等皆様の御協力に対し厚く御礼申し上げます。

唯クラブの出席率向上に關しその方法に於て御批判を受けましたことは誠に遺憾と存じます。

私は生来非常に短如短才でございます心ゆとりもございませんし、直情径行、誠に会長としてその徳に欠けて居ることを痛感して居ります。又深くその責任を感じている次第でございます。

然し聞かれて申し上げる事をお許し願えとすれば、およそ親睦のみを旨とする社交的なスポーツクラブですら、一定のルールがございまして、そのルールを踏み外してはそのクラブの価値を疑われることもあるのでこれはそのクラブを作ってる会員の責任であり、構成メンバーである会員自身の力によって解決するより外はないのではないかと思っております。

非常に固苦しいことを申し上げましたが、以上で年末の挨拶と致します。

会長報告

① クリスマスパーターは皆様始め西クラブ会長並びに

会員諸君の御協力により盛大に終了することが出来ました。新穂実行委員長及び各委員の御努力に対し深謝申し上げます。尚当日の募金額13,500円はNHK歳末たすけあいに御寄附致しました。

- ② 会員庄司繁太郎君より退会申し出がありました。永年ロータリアンとして活躍された同君の退会は誠に残念と思えます。去る24日の緊急理事会に諮りました処同君はチャーターメンバーの一員でもあり、又理事や各委員長を歴任しロータリーの理想推進に多大の貢献をされ、その功績誠に大なるものでありますので、その退会を承認するとともに当RCの名誉会員に推すことに決定致しました。皆様の御諒承を得たいと思えます。
- ③ 三井青少年委員長の御努力により鶴岡西高校のインターアクトクラブの設立が内定致しました。RCとして早急にその態勢を整える必要がありますので次の通りインターアクトクラブ委員会を編成致したいと思えます。……来週早々委員会を開催設立準備をお願いします。

委員長一三井(徹)君 委員一林君、藤佐(伊)君、小花君、池内君、張君、阿部(襄)君、安藤君、小池君 齋藤君、齋藤君

卓話

日本一のタンカー出光丸

会員 五十嵐一郎君

日本一のタンカーと云えば皆様ご存知と思いますが、去る12月8日に販売店の私共にその披露がありましたのでその船(出光丸)の模様についてお話し致します。

先づ日本の造船技術のすばらしさに驚嘆しました。総噸数21万トン、長さ342米、巾50米という非常に巨大なものです。3年前に出光興産が13万トンの日章丸を建造したわけですが、それに使用された鋼材と、この出光丸に使用された鋼材は同じ3万トンであり、又乗組員の面でも日章丸は40数人を要したものが現在の出光丸では僅か32人ですみ、燃料もほぼ同じで航行できると云うことで、僅か2-3年の間にこれだけ我が国の造船技術の進歩のめざましさに驚きました。出光興産社長はこれを日本人の和と技術の結集だと云って居ります。

何故こんな大きな船を造るかと申しますと、エネルギーの60%は石油であり年間約1億キロリットルの消費、しかもその大部分が諸外国から輸入しているわけです。その場合最も大きいのは輸送費です。このため大きい船を造って原価を下げるのがねらいです。

この出光丸の建造材料及び部品の99%が国産品であることが又自慢の様でした。又この建造期間ですがエンジン部分は1年程かかっていますが船体の方は僅か7ヶ月半で出来たものです。建造費は約55億と云ってました。

先程も申し上げましたがこの船の長さは342米もあるもので約276米の東京駅をスッポリ入れて尚66米余るわけです。甲板の広さは東京オリンピックの開催された国立競技場と同じ位で、後楽園球場の1.5倍だそうです。私も乗って見て人間の余りにも小さいのにびっくりしまし

た。

その巨大さの一部を紹介しますと錨の重さが18トン、鎖の輪の一つの重さが138キロ、長さ約400米、舵の広さが91平方米(畳56枚分)、重さ101トン、又甲板上は無数のパイプが配備されていますが、そのパイプの一番大きいのが直径80cm、大小合わせてその全長1,700米ということでした。

石油の積載量はドラム缶に入れて縦に積み上げると富士山の291倍、鉄道沿線を横に並べると東京から門司まで続くそうです。これを仮に1斗缶(18ℓ缶)に入れると1,360万缶で山口県からシンガポールまでつながる量です。この1回の積載原油の価格は12億5千万円、この出光丸はアラビアのクエートから輸送するのですが、その1往復の所用日数は約38日で年間9.3往復出来るそうです。

アラビアに行く時空で行くのが勿体ない様に思いますが、タンカーに他のものを積むのは非常に危険だそうで仮にもしこれが出来るとしても掃除や艇泊日数等の費用で損になるそうです。1日港に艇泊していると約600万円の経費がかかるそうです。それで往く時は安定の為タンクに海水を入れ航行するという事でした。

日本の現在の造船技術では50万トン級の建造は可能性があると云うことです。現在アメリカからの注文で播磨造船では30万トンのタンカーを建造中だそうです。もし技術的に50万トン以上の建造が可能であっても港湾施設や航路水深の問題で困難だろうと云われています。

それから世界のタンカー総数は約3,500隻、9,300万トン、その中日本には10万トン以上のタンカーは14隻、第1位はリベリヤ、2位がノルウェー、第3位イギリス、第4位アメリカで日本が第5位です。日本の現在石油需要(昭和41年推定1億1千6百万キロリットル)をまかなう為には出光丸級のタンカーが51隻必要とのことでした。出光興産の会社構想の偉大さに感銘を受けて参りました。

幹事報告 笹原桂一君

例会変更	天童RC	1月3日例会	1月10日 5.30
			(新年会)
	村山RC	〃	〃
	福島北RC	〃	〃
	村上RC	〃	1月5日 4.00
			(新年会)
	酒田RC	1月4日	5.30 (新年会)
			相馬屋

会報到着 台南RC
クリスマス・カード
ストウエル、ニューブランズ・ウィックRC
シンガポール、サンパブロRC 高雄東RC
バーナー ナイヤガラ、フォールスRC

スマイル

新穂君、スマイルの協力を要望率先して

献立

盛合 エビフライ、鳥サラダ、ロースハム、トマト、花野菜 ライスカレー